

日奈久っ子



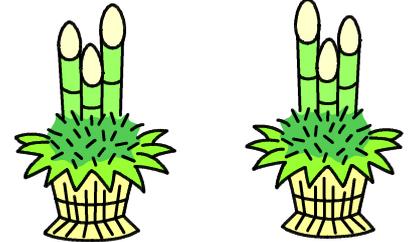
八代市立日奈久小学校
学校便り 第14号
平成30年12月26日発行
文責 中村
3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

2学期も大変お世話になりました。よいお年をお迎え下さい。

長い2学期が終わりました。2学期は、プール、6年生の修学旅行、5年生の集団宿泊教室、それぞれの学年の社会科見学、たけのこ発表会に親子ふれあい活動、持久走大会等々その他にもたくさんの行事がありました。その間に季節も夏から冬への移り変わりました。数々の行事を体験する中で、楽しいこともあれば、きつかったり、悩んだり等と大変なこともあったと思いますが、それぞれがいろんな思いを乗り越えたからこそ、この2学期の終業式を迎えることができたのだと思います。81日という長い2学期、子ども達は本当によくがんばったと思います。

また、子ども達が無事、元気に、冬休みが迎えらるるのは、ご家庭と地域のご協力があってこそです。皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

「ありがとう」は幸せの始まり～感謝の心持ちを大切に



本日の終業式では、「ありがとうは幸せの始まり」という話をしました。

4. 5. 6年生に、2学期始めに私が示した目標①挨拶と返事②言葉遣い③自分の考えを伝える④自分のことは自分です⑤命を大事にするについて、どのくらいできるようになったかアンケートをとってみました。すると、子ども達が一番できていないと感じている事は②言葉使いでした。「言葉」は思いや考えを表現する道具です。それが、人を攻撃するという事は、人への思いや考えが攻撃的になっているということです。

では、心が攻撃的にならないようにするためには、どのような心持ちが必要なのでしょう。私は「感謝の心」ではないかと思えます。

家族や先生や友達からしてもらっていることを、「してもらって当たり前」と思っていると「感謝の心」は持てず、逆に、自分の思う通りにしてもらえないと相手が悪いという感情が起きます。でも「してもらってありがたいなあ」と思えると心が穏やかになります。すると「言葉」も穏やかになり、感謝の気持ちを表す言葉「ありがとう」が言えるようになるでしょう。言われた人は温かい気持ちになり、「感謝の心」が伝染します。それが広がるとみんな穏やかで、幸せな気持ちになれるでしょう。だから『ありがとう』は幸せの始まり」なのです。

子ども達には、「今日一日、家族、先生、友達への感謝の気持ちを持って過ごして下さい。そして、その気持ちを伝えましょう。」「冬休みは家族に、新しい年を迎えられることに感謝の気持ちを持って過ごしましょう。」と話をしています。健康と安全に留意されて、ご家族で楽しい冬休みをお過ごし下さい。



最後まで走り抜いた持久走大会～皆様の温かい応援ありがとうございました

12月3日(月)から持久走練習期間に入りましたが、雨続きで、外での練習がほとんどできませんでした。その分、朝のチャレンジマラソンでは体育館で、練習を重ねるなど、本番にそなえてできることをがんばりました。結局、本番の持久走コースを練習できたのは、前日の13日(木)のみになってしまいました。

本番の14日(金)、天気はばっちり！子ども達の気合いも十分！参加した全員が、それぞれ自分の持てる力を発揮して、最後まで走りきることができました。

走り終えた子ども達には、笑顔あり、涙あり、悔しそうな表情あり、、、子ども達はこの体験を通して、様々な思いを感じ、心も頭も体もさらに成長をしているのだろうなあと感じました。

「ちょっときつい体験」は、より一層子ども達の心を成長させます。私たち大人は、子どもが困っていると、かわいさの余りつつい、すぐに手出し、口出しをしてしまいがちですが、子ども達に備わる力を信じて、見守り、任せることが大切だなあと改めて感じたところです。

応援に来て下さった保護者や地域の皆様、安全の見守りをして下さった交通指導員や婦人会の皆様、本当にありがとうございました。おかげさまでより一層力が発揮できたものと思います。今後とも日奈久っ子をどうぞよろしくお願いいたします。

